

令和3年度 美術科 授業充実（改善推進）プラン

1、昨年度のプランの検証

昨年度4観点について
・「発想・構想の能力」「基礎的な技能」の向上を目指し個別支援・指導を行った。
・「発想や構想をする能力」に関しては改善が必要である。アイデアを出しやすい教材、指導法の工夫が課題である。自分の思いを表現意図に合った材料や表現方法を工夫して形や色で表せるように指導法を工夫する。また学校生活の各活動に応用できるように指導をする。
・「創造的な技能」に関して、水彩絵の具の基礎的な技能を習熟させること、表現意図に合った効果的な技法を工夫して使えるようにする。
・鑑賞については、生徒それぞれの意見や感想を共有し、他者と共感したり、違いに気付いたりできる授業を実践できた。より多くの生徒が積極的に意見交換に参加できるような雰囲気をつくる。ワークシートは学習意欲を高められるように内容を工夫する。

2、課題（各観点）

観 点	分 析
知識・技能	・1学年・・・基礎的な表現技能を定着させる。 ・2・3学年・・・基礎的な表現技能を習熟させ、自分の思いや表現意図に合った材料や表現方法を工夫し効果的に形や色で表せるようする。より良いものを目指して制作させる。
思考・判断・表現	・自分なりの発想をなかなか出せず、既存の模倣に流れがちである。 ・自分のイメージを作品として具現化するための構想力を高める必要がある。アイデアをじっくりと練り、よく考えて工夫し深めることができるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	どの課題でも興味・関心を持ち、おおむねまじめに取り組む。 個人によっては積極的な取り組みもみられる。

3、授業改善のポイント

- ①材料、用具の基礎基本を定着させるとともに、基礎技能を応用して、よりよいものを創り出す姿勢を育てる。（知識・技能）
- ②発想・構想する能力の向上及び活動の充実。自分の価値意識を大切にしたい鑑賞学習のさらなる充実。（思考・判断・表現）
- ③生徒の興味を引き関心・意欲を高める。（主体的に学習に取り組む態度）

4、授業改善策

- ①意欲的な取り組みが結果として反映される題材を設定し、取り組みやすい材料を用意する。表現する意欲を高める導入の工夫、声掛けをする。
- ②発想力が少しずつ高められるような小課題を取り組ませる。
- ③形・色・イメージを具現化しやすいワークシートを取り入れ、アイデアスケッチを描かせる。
- ④個に応じた分かりやすい支援の工夫をする。
- ⑤基礎的な技能を段階的に取り組ませることで技能の習熟を図る。
- ⑥表現、鑑賞において言語活動による意見交換等学び合いの場をつくる。対話による鑑賞を実践し全体、グループ、ペアによる意見交換を取り入れる。